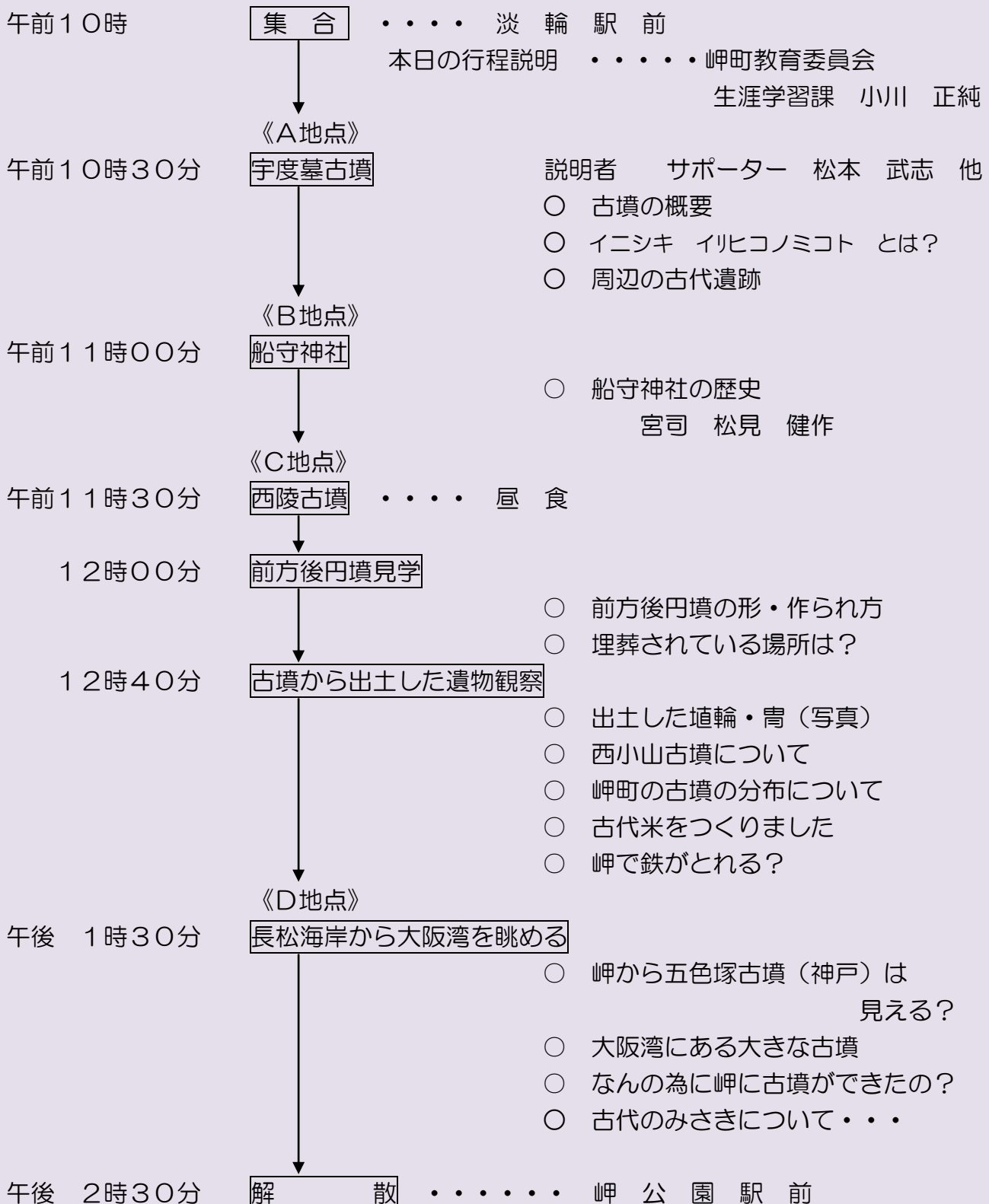


「みさきの古代を学ぼう」ハイキングを開催しました

12月10日（土）最高気温が11℃と予想される寒い中、歴史館イベント「みさきの古代を学ぼう」と題して淡輪周辺に存在する様々な文化財を見学しながら、古代みさきの足跡をたどりました。参加者35名、サポーター12名が午前10時に淡輪駅に集合し、サポーターの松本 武志さんの説明でスタートしました。





肌寒いなか、参加者は淡輪駅に集合。行程説明のあと古代探しへスタート



宇度墓古墳へ到着。上空からの前方後円墳の写真と見比べながら、松本さんが解りやすく説明。
イニシキイリヒコノミコト伝説も・・・



宇度墓古墳から船守神社へ行く途中、淡輪特有の宮座の前を通ったのでサポーターの竹内さんが説明しました。しかし、淡輪の歴史は奥が深い……



船守神社では、宮司の松見さんが説明してくれました。本殿は、国の重要文化財となっています。



西陵古墳の墳丘に到着。中にはいるとその大きさにビックリ・・・
遠くから眺めているのとは大違いです。



松海岸に到着。ここから神戸の五色塚古墳が目視できるのですが、悪天候の為確認できず。残念！でも大阪湾を背景に、そこから引き揚げられたナウマン像の化石を見ながら、サポーターの中川さんがみさき公園の歴史やゾウの進化などをお話していただきました。すごくオモシロイ・・・

岬町には、前方後円墳はじめとする遺跡や青などの出土遺物が数多くあり、古代みさき王国の存在を想像させます。次回のイベントご期待ください。